

OITAドローンフェスタ2019 実施報告書



Blue innovation

■ 概要

- 背景
- OITAドローンフェスタ2019開催概要
- 当イベントの目的とコンセプト、実施コンテンツ一覧
- 開催場所
- 会場フロアレイアウト
- 実施体制

■ 当イベントの成果概要

- 目標集客数と実測
- その他の結果

■ 広報活動

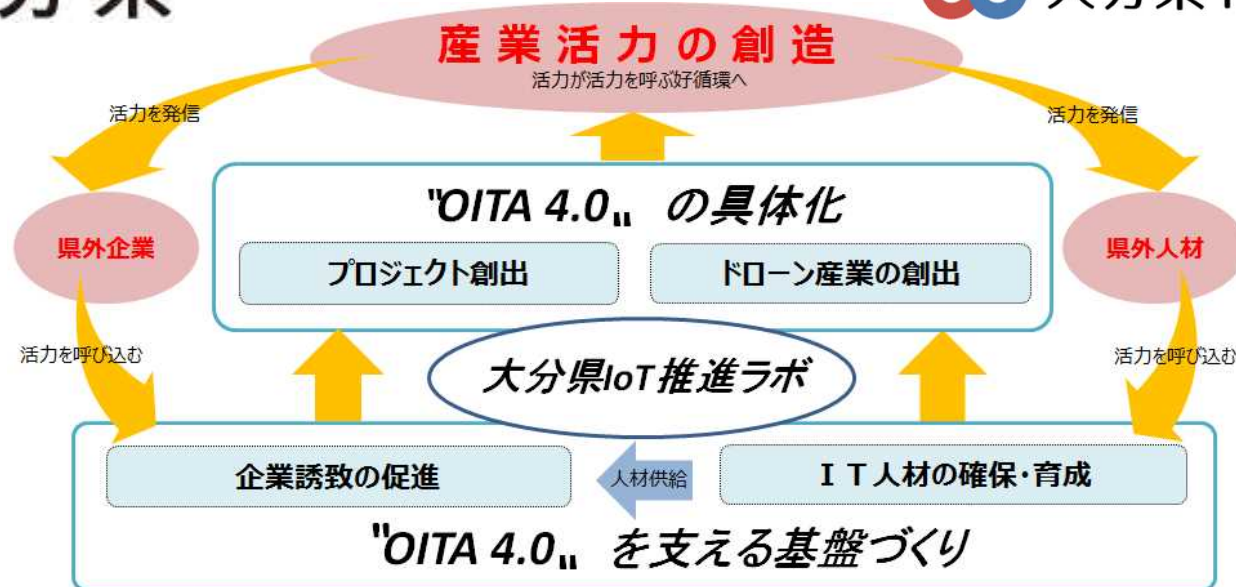
- プロモーション施策
- 制作物一覧
- メディア掲載履歴と一覧

■ 各コンテンツの概要と成果

- 各企業や団体によるドローン関連技術の見本市
- ドローン有識者によるパネルディスカッション・講演会
- ワークショップ・セミナー
- 子供向けドローン操縦・プログラミング体験会
- デモンストレーション

概要

- 大分県は「OITA4.0」の政策の中で、ドローン産業の創出を行うことで、**県内企業の活力創造**を図るとともに、ドローンなど**先端技術の社会実装を促進**していきたい。また**将来を担う次世代人材育成**にも力を入れていきたい。



出典：大分県ホームページ「大分県版第4次産業革命『OITA 4.0』」

OITAドローンフェスタ2019開催概要

CONFIDENTIAL

■ 日程：令和元年
12月20日(金)、21日(土)

■ 会場：大分県立美術館OPAM 及び
iichiko総合文化センター

■ 目的

- 全国から集ったドローン技術をPRし、
企業間マッチングを促進する
- 将来を担う子どもたちの科学技術への
興味関心を育む

■ 企画内容

- 各企業や団体によるドローン関連技術の展示
- ドローン有識者による講演やパネルディスカッション
- 子ども向けドローン操縦・プログラミング体験会
- ドローンを使用したデモンストレーション



The poster for OITA Drone Festa 2019 features the Oita Prefectural Government and Oita City logos at the top. The main title 'OITA 2019 DRONE FESTA' is prominently displayed in large, bold letters. Below the title, the dates '2019.12月20日(金)・21日(土)' and the venue 'iichiko総合文化センター / 大分県立美術館OPAM' are listed. The poster includes a QR code and a '検索' (Search) button. The central image shows a drone flying over a cityscape, with a yellow box attached to its underside. The text 'ドローンが拓く次世代の可能性' (The possibilities of drones for the next generation) is written across the middle. Three smaller images at the bottom illustrate the event's activities: a drone exhibition, a panel discussion, and a children's workshop.

各企業や団体によるドローン見本市

ドローン有識者による講演・パネルディスカッション

子ども向けドローン操縦・プログラミング体験会

【お問い合わせ】
OITADroneFesta2019実行委員会事務局
TEL: 097-506-3272 MAIL: oita2019@blue-ino.jp

イベントページはこちら <https://event.net/>
OITADroneFesta 検索

当イベントの目的とコンセプト、実施コンテンツ一覧

CONFIDENTIAL

■ 目的

- 全国から集ったドローン技術をPRし、企業間マッチングを促進する
- 将来を担う子どもたちの科学技術への興味関心を育む

■ 各コンテンツは全体コンセプトを基本とし、それぞれ以下のコンセプトで実施

全体コンセプト

- ◆ 全国または世界の技術と大分県を繋ぐ
- ◆ ドローン技術の活用事例や将来の社会ビジョンを見せる
- ◆ 大分発の新しいドローン活用方法を創る

技術展示・講演会

全国と世界からの出展社/講演者を幅広く参加させ、大分の企業とのコラボレーションの機会を提供

デモンストレーション

産業用ドローンのデモを間近で見てもらい、体感してもらうことで、ドローン技術の優位性をPRする

操縦・プログラミング体験

ドローンの操縦やプログラミング体験により子どもたちの科学技術への興味・関心を育む

ワークショップ (独自提案)

来場者が参加し自らドローンの活用方法に考えることで、大分発のドローン活用方法を創出する

■ 大分県立美術館OPAM



1F アトリウム (見本市会場)



2F 研修室 (子ども向け操縦・プログラミング体験会場)



西側屋外 (デモンストレーション会場)



開催場所②

CONFIDENTIAL

■ iichiko総合文化センター



1F アトリウム (見本市会場)



4F 会議室
(ワークショップ・セミナー会場)

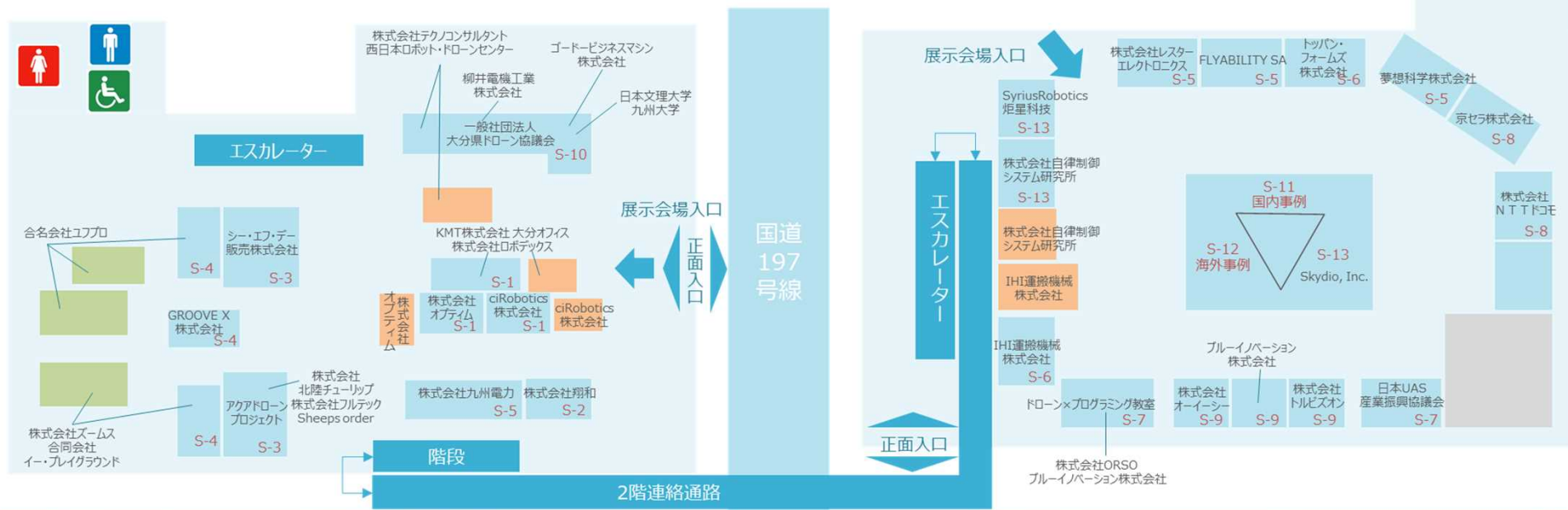
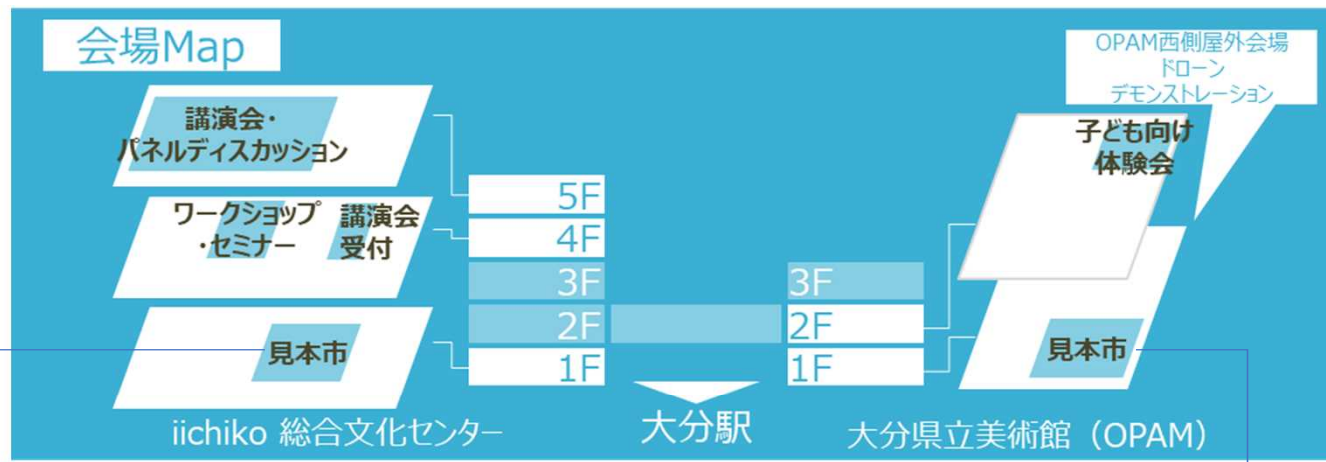


5F 音の泉ホール
(講演会・パネルディスカッション会場)



会場レイアウト

CONFIDENTIAL



当イベントの成果概要

■ 成果

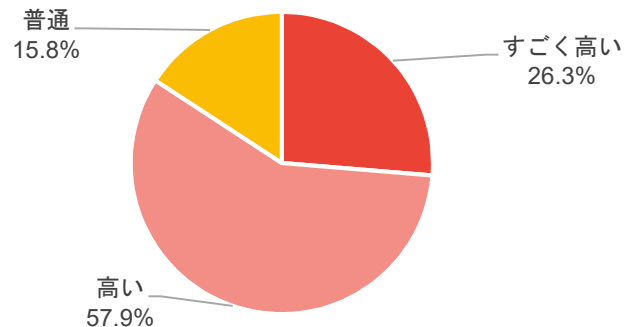
来場者数等の目標数値を設定していなかったが、4,941名（延べ人数）の来場があり、様々な分野でのドローン活用事例を幅広く紹介することができた。

| 来場者数 | | 12月20日(金) | 12月21日(土) | 合計 |
|-----------------|---------|-----------|-----------|--------|
| 見本市 | | 1,920名 | 1,375名 | 3,295名 |
| 講演会・パネルディスカッション | | 1,274名 | | 1,274名 |
| ワークショップ・セミナー | | 35名 | 128名 | 163名 |
| 子ども向け体験会 | ドローン操縦 | | 167名 | 167名 |
| | プログラミング | | 42名 | 42名 |
| | | | 延べ人数 | 4,941名 |

■ アンケート集計結果概要

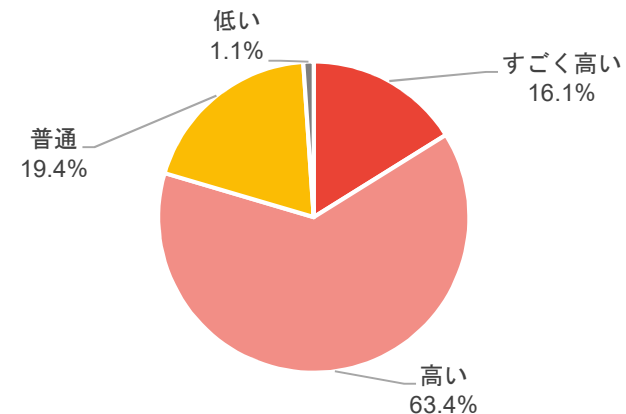
- 出展者／来場者に分けてアンケートを実施した。
全有効回答者件数114件。
 - 出展者（有効回答者件数19件）
満足度が「すごく高い」「高い」をあわせて**84.2%**と非常に高い結果となった。加えて、出展者に対し、来年の出展希望について聞いたところ、全体の90.4%が「とても希望する」「希望する」との回答があり、見本市に対して非常に高い評価を得た。
 - 来場者（有効回答者件数93名）
一般来場者のイベント全体の満足度として「すごく高い」「高い」をあわせて**79.5%**と非常に高い結果となった。

見本市全体の満足度



【出展者回答：19社】

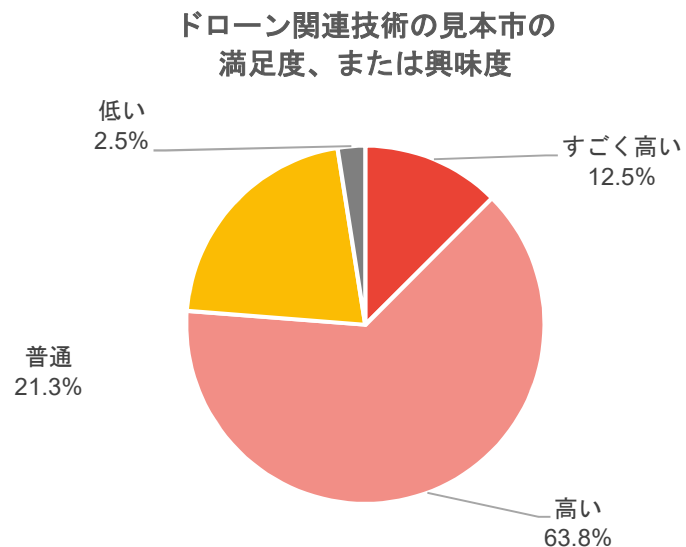
イベント全体の満足度



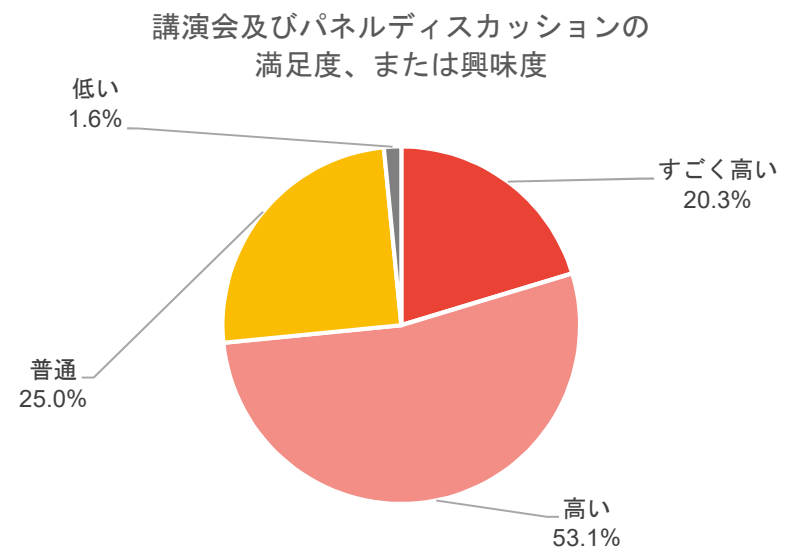
【来場者回答：93名】

■ アンケート集計結果概要

- 各コンテンツ別のアンケート集計結果は以下の通り。
全有効回答者件数114件。
 - 見本市（有効回答者件数80名）
「すごく高い」「高い」をあわせて**76.0%**と全体の3分の2以上が満足していた。
 - 講演会・パネルディスカッション（有効回答者件数65名）
「すごく高い」「高い」をあわせて**73.4%**と全体の3分の2以上が満足していた。



【来場者回答：80名】

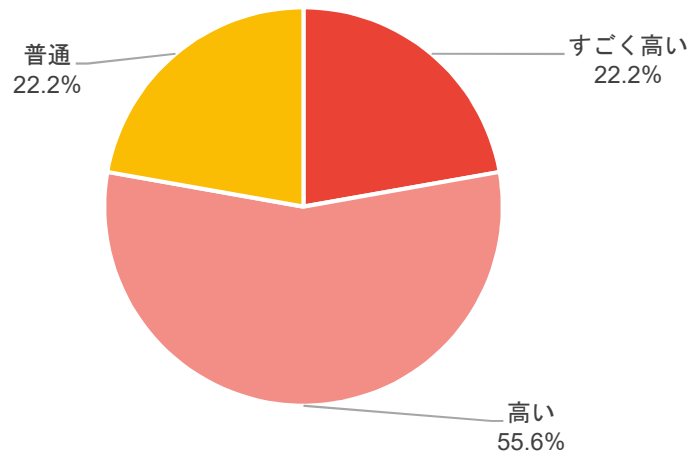


【来場者回答：65名】

■ アンケート集計結果概要

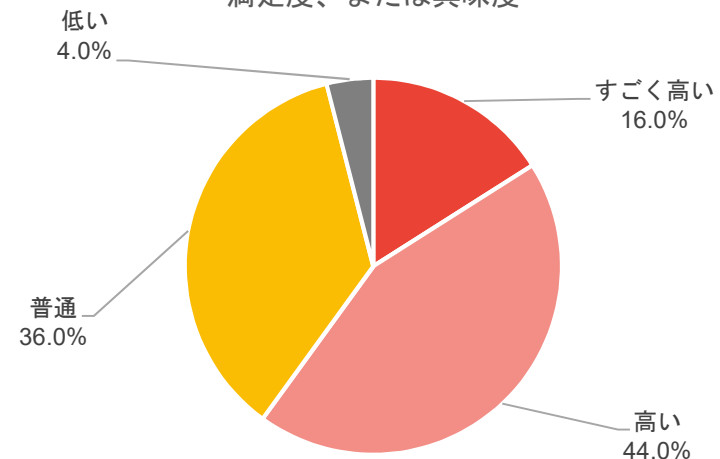
- 各コンテンツ別のアンケート集計結果は以下の通り。
全有効回答者件数114件。
 - ワークショップ・セミナー（有効回答者件数55名）
「すごく高い」「高い」をあわせて**77.8%**と全体の3分の2以上が満足していた。
 - ドローン操縦会（有効回答者件数28名）
「すごく高い」「高い」をあわせて**60.0%**と全体の半数以上が満足していた。
他コンテンツと比べ満足度が低い、昨年と同じコンテンツだったことが影響している可能性がある。

ワークショップ及びセミナーの
満足度、または興味度



【来場者回答：55名】

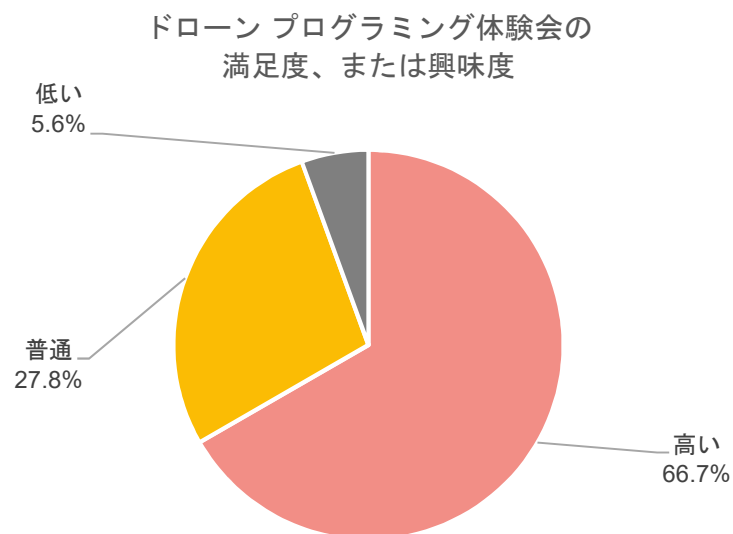
ドローン操縦会の
満足度、または興味度



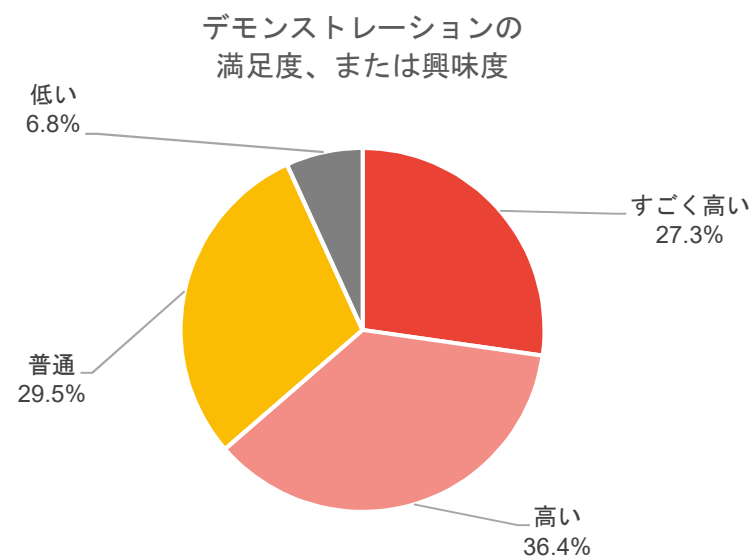
【来場者回答：28名】

■ アンケート集計結果概要

- 各コンテンツ別のアンケート集計結果は以下の通り。
全有効回答者件数114件。
 - ドローンプログラミング体験会（有効回答者件数20名）
「高い」が**66.7%**と全体の6割以上が満足していた。
 - デモンストレーション（有効回答者件数45名）
「すごく高い」「高い」をあわせて**64.7%**と全体の6割以上が満足していた。
特にTom Moss氏のデモフライトが非常に人気があった。



【来場者回答：20名】

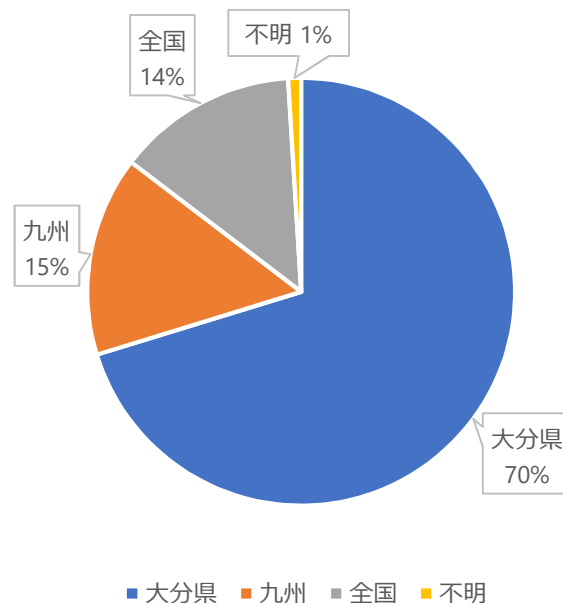


【来場者回答：45名】

■ 講演会・パネルディスカッションの事前申込者の所属会社所在分布

- 大分県+九州管内からの参加申込が85%と大多数を占めた
 - 申告いただいた会社情報より、大分県内/九州管内/その他全国を分類
 - 一部所在地の特定ができなかった方は不明として分布図を作成

講演会・パネルディスカッション事前申込者内訳



【高校生除く事前申込者：205名】

講演会・パネルディスカッションの登壇者は、世界、全国から招聘したので、ドローン産業の世界と日本での現状について、大分県だけでなく九州・全国のドローン産業従事者/これからの従事者に情報発信できた

広報活動



■ イベント開催にあたり、下記の制作物を作成した。

ホームページ (<https://zzevent.net/>)



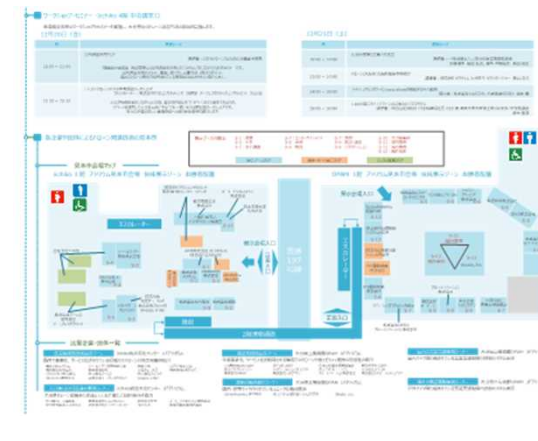
ポスター・チラシ



当日用パンフレット



Facebook
(<https://www.facebook.com/oitadronefesta2019/>)



■ 結果

- マスメディア露出12社
(テレビ4社、新聞2社、ラジオ2社、インターネットメディア3社)

■ 評価

■ 県内

Webを中心とした宣伝に効果が見られ、特に特設HPからの集客に効果があった。(※1・2)

■ 県外

ドローン関連のイベントと親和性が高いJUIDA会員・BIクライアントへのメールマガジンやDMは集客に効果があった(※3・7・9)

全国メディアでの露出数は少なかったものの(掲載率30%)、九州内のビジネス系メールマガジンへの掲載率(67%)は高く、全県で掲載に至った。大分県内のドローン関連企業にとっては九州全域が商圏となり得る事、九州内でのドローンの注目度の高さや産業利用への関心の強さを確認することができた。また、少数ではあるが長崎・熊本・宮崎県など遠方からの来場者獲得にもつながった。(※5・8)

出展企業を通じたPR依頼とサポートを行ったため、集客につながった。(※4・6)

NHK大分放送局

NHK NEWS WEB
大分 NEWS WEB

2019年 (令和)

ドローンフェスタ始まる

12月20日 21時23分



ドローン産業の育成を目指す大分県が主催して、大規模なドローンの見本市が20日から大分市で始まり、さまざまな分野で活用が進む最新の機体が紹介されています。

大分市で始まった見本市には、県内外や海外から合わせて30の企業や団体が出展し、会場には最新鋭のさまざまなドローンが展示されています。

このうち、物流業界向けに開発が進められているドローンは、動き方を事前に設定す

TOSテレビ大分



最新の機体がズラリ ドローンフェスタ

この記事シェア 大分 2019.12.20 19:06

最先端のドローンやその活用方法などを紹介するドローンフェスタが大分市で始まった。約30社がブースを設け物流や防災など様々な分野で活用が期待されるドローンを展示している。21日まで県立美術館などで行われている。

< 記事一覧に戻る

OBA大分朝日放送



大分のニュース news

12月20日(金)

ドローンフェスタ



OBS大分放送



大分経済新聞



みんなの経済新聞

大分市で「ドローンフェスタ」 見本市、セミナー、デモ飛行に子ども向け操縦会も

12/20(金) 16:33配信

みんなの経済新聞 LOCAL NEWS NETWORK



"ichiko総合文化センターなどで始まった「OITAドローンフェスタ2019」

小型無人機ドローンの産業振興を図る「OITAドローンフェスタ2019」が12月20日、大分市のichiko総合文化センター（大分市高砂町2）と大分県立美術館OPAM（大分市寿町2）で始まった。（大分経済新聞）

水中ドローンの操縦を体験する女子高校生

大分県や大分市などをつくる実行委員会の主催。ドローンの活用事例や可能性などについて広く知ってもらう目的で昨年に続いて開く。20日・21日の日程で国内外の企業など約30団体による見本市、ドローン有識者による講演会とセミナー、子ども向けの操縦体験

各コンテンツの概要と成果

【各企業や団体によるドローン関連技術の見本市】

■ 概要

国内外から様々な用途のドローンを集めて展示

■ 内容

大分県、九州圏内の企業・団体にとどまらず、全国・世界からも出展者を募り、幅広く現状のドローン産業の技術やこれからサービス化が実現される領域の技術を展示。これからドローンを取り入れたい事業者が、今まで知らなかった利活用方法を発見し、取組みをスタートするきっかけや、既にドローンを取り入れている事業者にも、更なる利活用のヒントを得てビジネス拡大の可能性を提供。

■ 見本市市場構成

企業展示ゾーンと企画展示ゾーンの2種構成で見本市を行った。

企業展示ゾーン

産業領域別技術展示ゾーン

用途別技術展示ゾーン

企画展示ゾーン

最新の実証実験事例コーナー

最新の機体紹介コーナー

大分県における企業の事例コーナー

会場の様子と結果

CONFIDENTIAL

■ 出展総数は以下の通り

| | ブース出展 | 事例出展 | 合計 | 目安 |
|-------|-------|---------|-----|--------|
| 大分県企業 | 10社 | | 45社 | 30~40社 |
| 九州企業 | 4社 | | | |
| 国内企業 | 18社 | 3社4事例 | | |
| 海外企業 | 3社 | 7社8事例 | | |
| 小計 | 35社 | 10社12事例 | | |



出展者一覧①

CONFIDENTIAL

| 展示ブース領域 | 企業名 | 地域 |
|---------------|-------------------------------------|----|
| S-1：農業 | 株式会社オプティム | 九州 |
| | ciRobotics株式会社 | 大分 |
| | 株式会社ロボデックス | 全国 |
| S-2：土木 | 株式会社翔和 | 九州 |
| S-3：水中調査 | シー・エフ・デー販売株式会社 | 全国 |
| | 株式会社北陸チューリップ／株式会社フルテック／Sheeps order | 全国 |
| S-4：エンターテイメント | 株式会社ズームス／合同会社イー・プレイグラウンド | 全国 |
| | 合名会社ユフプロ | 大分 |
| | GROOVE X株式会社 | 全国 |
| S-5：点検 | 株式会社九州電力 | 九州 |
| | FLYABILITY SA | 海外 |
| | 夢想科学株式会社 | 大分 |
| | 株式会社レスターエレクトロニクス | 全国 |
| S-6：物流 | IHI運搬機械株式会社 | 全国 |
| | トッパン・フォームズ株式会社 | 全国 |

出展者一覧②

CONFIDENTIAL

| 展示ブース領域 | 企業名 | 地域 |
|--------------|---------------------------------|----|
| S-7：教育 | 株式会社ORSO／ブルーイノベーション株式会社 | 全国 |
| | 一般社団法人日本UAS産業振興協議会 | 全国 |
| S-8：防災・救命 | 株式会社NTTドコモ | 全国 |
| | 京セラ株式会社 | 全国 |
| | 株式会社フルテック | 全国 |
| S-9：アプリケーション | 株式会社オーイーシー | 大分 |
| | 株式会社トルビズオン | 九州 |
| | ブルーイノベーション株式会社 | 全国 |
| S-10：大分県事例 | 一般社団法人大分県ドローン協議会 | 大分 |
| | KMT株式会社 大分オフィス | 大分 |
| | ゴードービジネスマシン株式会社 | 大分 |
| | 株式会社テクノコンサルタント 西日本ロボット・ドローンセンター | 大分 |
| | 日本文理大学／九州大学 | 大分 |
| | 柳井電機工業株式会社 | 大分 |

出展者一覧③

CONFIDENTIAL

| 展示ブース領域 | 企業名 | | 地域 |
|-------------|--------------------|------------------------|----|
| S-11 : 国内事例 | 株式会社NTTドコモ | | 全国 |
| | 一般社団法人日本UAS産業振興協議会 | | 全国 |
| | 全日本空輸株式会社 | | 全国 |
| S-12 : 海外事例 | ABRIS (ウクライナ) | | 海外 |
| | ATECHSYS (フランス) | | 海外 |
| | GEOSCAN (ロシア) | | 海外 |
| | SBG systems (フランス) | | 海外 |
| | SIM ACTIVE (カナダ) | | 海外 |
| | SKY DRONES (スイス) | | 海外 |
| | SKYGAUGE (カナダ) | | 海外 |
| S-13 : 最新機体 | PF-2 | 株式会社自律制御システム研究所 (ACSL) | 全国 |
| | AMY | 株式会社ブルーイノベーション | 全国 |
| | Skydio 2 | Skydio, Inc | 海外 |
| | FlexCommet SL-50 | SyriusRobotics 炬星科技 | 海外 |

各コンテンツの概要と成果

【ドローン有識者によるパネルディスカッション・講演会】

■ 概要

ドローン産業の国内外の動向や、産業領域毎の事例発表を、海外の講演者や行政の講演者を含めて、多面的な視点からパネルディスカッション・講演を行った。

■ 目的

最新の動向や各産業領域におけるドローンの使用事例を知ること、将来の新しいビジネス創造や経済発展、雇用創出の貢献につなげること。



講演・パネルディスカッション一覧

CONFIDENTIAL

| 講演テーマ | プレゼン団体名 | 登壇者役職 | 登壇者氏名 |
|--|------------------------|--|----------|
| 基調講演： スマートドローン登場 シリコンバレーからの次世代技術！ | Skydio, Inc. | COO | Tom Moss |
| 基調講演： ドローン業界の現状と将来展望 | 一般社団法人日本 UAS産業振興協議会 | 常務理事 | 岩田 拓也 |
| ドローンビジネスの最前線 | ブルーイノベーション 株式会社 | 代表取締役社長 | 熊田 貴之 |
| 災害領域での実証実験・サービス事例： 災害発生時のドローンの利用可能性 | 株式会社NTTドコモ | 法人ビジネス戦略部 ドローンビジネス推進担当課長 | 岡崎 慎司 |
| 物流領域での実証実験・サービス事例： 新・物流用ドローンポートご紹介 | IHI運搬機械 株式会社 | パーキングシステム事業部 プロジェクト推進統括部 理事・統括部長 | 村井 厚則 |
| ドローンの利活用の 今後に向けたパネルディスカッション | 大分県 | 商工観光労働部 新産業振興室 室長 | 山上 啓輔 |
| | IHI運搬機械 株式会社 | 運営企画部 ドローン事業エヴァンジェリスト | 住田 陽子 |
| | 京セラ株式会社 | 横浜事業所 通信開発部 第3 開発部キーデバイス2課責任者 | 田野 正貴 |
| | 株式会社NTTドコモ | 法人ビジネス戦略部 ドローンビジネス推進担当課長 | 岡崎 慎司 |
| | ブルーイノベーション 株式会社 | 常務取締役 | 那須 隆志 |
| ドローン振興施策の紹介 | 国土交通省 | 航空局安全部安全企画課 | 松隈 洋平 |

主催者挨拶

CONFIDENTIAL

- 大分県知事 広瀬 勝貞氏
- 大分市長 佐藤 樹一郎氏



基調講演①スマートドローン登場 シリコンバレーからの次世代技術！

CONFIDENTIAL

■ Skydio, Inc. COO Tom MOSS氏

内容

- 自動追尾システムなど最先端のドローン技術の紹介

事前申込：309名
出席者：概算412名



基調講演②ドローン業界の現状と将来展望

CONFIDENTIAL

■ 一般社団法人日本UAS産業振興協議会 常務理事 岩田 拓也氏 内容

- 日本最大の業界団体から国内外の最新の技術を紹介

事前申込：162名
出席者：概算194名



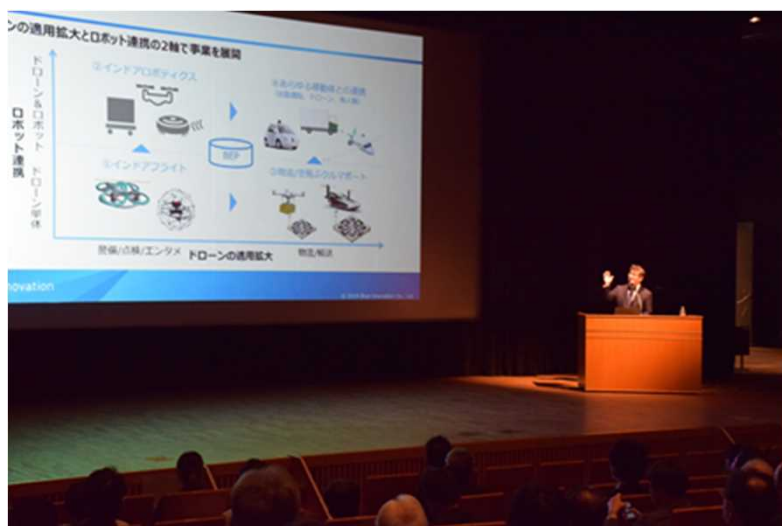
■ ブルーイノベーション株式会社 代表取締役社長 熊田 貴之氏

内容

- 屋内点検・倉庫内在庫管理・物流の分野におけるドローンのサービス開発の成果を共有し、今後のドローンビジネスの可能性と展望についての紹介。

事前申込：138名

出席者：概算156名



災害発生時のドローンの利用可能性及び ドコモでの実証実験・サービス事例

CONFIDENTIAL

■ 株式会社NTTドコモ 法人ビジネス戦略部 ドローンビジネス推進担当課長 岡崎 信二氏

内容

- 災害時における情報共有の課題と、自社における取り組みを通じたドローン利活用の可能性について紹介。セルラーネットワークに接続されたドローンの災害利用や、以下のサービスおよび実証実験の概要と今後のサービス化についても紹介。

- ①災害時のライブストリーミング
- ②ドローンを活用した避難活動支援

事前申込：127名

出席者：概算144名

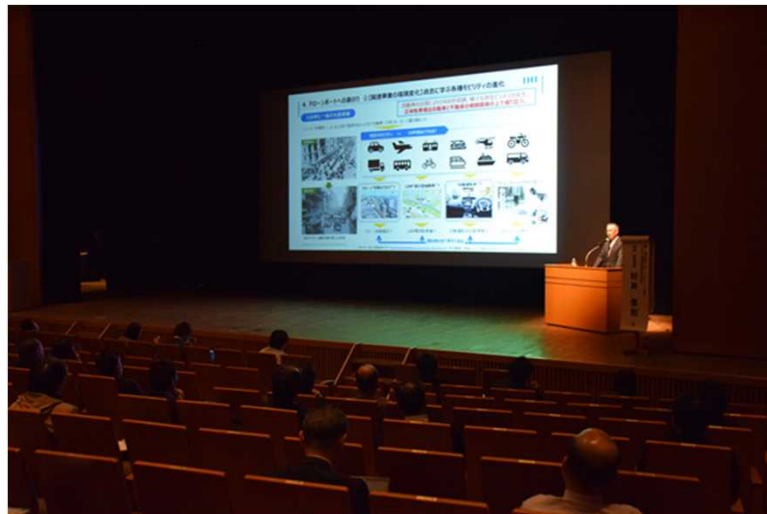


■ IHI運搬機械株式会社 パーキングシステム事業部プロジェクト推進統括部 理事 統括部長 村井 厚則氏

内容

- スマートシティに貢献する新たな駐車場活用のあり方を提案。
ドローンと自動運転モビリティを連携させることで、ラストワンマイルの物の流れを完全無人化に！
立体駐車場の屋上など普段使われにくい空間を有効に活用した新しい荷捌きシステムの紹介。

事前申込：111名
出席者：概算135名



ドローンの利活用の今後に向けたパネルディスカッション

CONFIDENTIAL

- 大分県商工観光労働部 新産業振興室 室長 山上 啓輔氏
- 株式会社NTTドコモ 法人ビジネス戦略部 ドローンビジネス推進担当課長 岡崎 信二氏
- 京セラ株式会社 横浜事業所 通信開発部 第3開発部 キーデバイス2課 責任者 田野 正貴様
- IHI運搬機械株式会社 パーキングシステム事業部 プロジェクト推進統括部 運営企画部 ドローン事業エヴァンジェリスト 住田 陽子氏
- ブルーイノベーション株式会社 常務取締役 那須 隆志氏

事前申込：110名
出席者：概算125名



無人航空機に係る航空法の概要と環境整備に向けた取組

CONFIDENTIAL

■ 国土交通省 航空局 安全部 安全企画課 主査 松隈 洋平氏 内容

■ ドローン振興施策の紹介

事前申込：97名
出席者：概算108名



各コンテンツの概要と成果

独自企画
【ワークショップ・セミナー】

■ 概要

企業によるセミナーや、来場者参加型のワークショップを開催した。
初日は公的資金活用セミナーや「大分×ドローン」による未来創造ワークショップを開催し、大分県におけるドローン利活用の促進をはかり、2日目は各企業におけるセミナーによって、ドローンを用いた事例やサービスの紹介を行い、ドローン業界へのビジネス参入への興味を高めた。

■ 目的

- ①ドローンビジネスの具体的なビジネスに関する説明をすることで、新規参入を促す
- ②ドローンビジネスの運用に関して有用な情報を提供することで、ドローン利活用の促進を促す

■ 12月20日（金）

| 講演テーマ | 実施団体名 | 登壇者役職 | 登壇者氏名 |
|-------------------------|------------------|--------------------------|-------|
| 公的資金活用セミナー | OITAドローンフェスタ | 運営事務局 | 田口 直樹 |
| 「大分×ドローン」による未来創造ワークショップ | 株式会社iTiDコンサルティング | 取締役 チーフエグゼクティブコンサルタント | 北山 厚 |

■ 12月21日（土）

| 講演テーマ | 実施団体名 | 登壇者役職 | 登壇者氏名 |
|-------------------------------------|------------------------|---------------------------------------|----------------|
| JUIDA理事と会員の交流会 | 一般社団法人 日本UAS産業振興協議会 | 理事・事務局長 常務理事 | 熊田 知之 岩田 拓也 |
| ドローンとAIを使った最新農業事例紹介 | 株式会社オプティム | 九州支社 サブマネージャー | 岸山 洋介 |
| 上空シェアリングサービスsora:shareが 開拓する空の経済 | 株式会社トルビズオン | 代表取締役CEO | 増本 衛 |
| いまなら間に合う！ドローンの法律&ビジネスモデル | 株式会社ORSO | 代表取締役社長 CEO 東京大学大学院工学系研究科 非常勤講師 | 坂本 義親 |

■ OITAドローンフェスタ2019運営事務局

内容

- 補助金や助成金、委託事業など公的資金を活用したことがない方に向けての活用セミナー。公的資金活用のメリット、種類、調べ方、応募方法、採択のポイント、過去にドローン関係で採択されている事例などをわかりやすく紹介。

事前申込：49名

当日申込：4名

出席者：27名



考察：アンケートでも全般的に評価が高く、公的資金活用への関心の高さが見てとれた。特に新規にドローン産業に参入しようとする企業・団体からは積極的に質問があり、大学での公的資金活用など、より深掘りした内容のセミナーも期待された。

「大分×ドローン」による未来創造ワークショップ

定員：20名

CONFIDENTIAL

■ 株式会社iTiDコンサルティング 取締役 チーフエグゼクティブコンサルタント 北山 厚氏

内容

- 大分が特徴を活かしながらどんな街、産業を目指しそこにドローンがどう活用できるのか。ドローンを活用して大分を元気にすることを一緒に考える参加型ワークショップ。様々な企業の新しい価値創造への取り組み事例も紹介。

事前申込：32名

当日申込：0名

出席者：8名



考察：注目度は高かったが、ホールでの講演と時間が被っており、出席を諦める方が多かった。裏を返せば、本気度の高い出席者のみで開催することができ、2班に分かれて活発な議論が行われた。名産の収穫など地元密着したアイデアが生まれた。

■ 一般社団法人日本UAS産業振興協議会（JUIDA） 岩田常務理事、熊田理事・事務局長

内容

- JUIDAの直近の活動報告や岩田常務理事による業界ホットトピックについてのショートプレゼンを行います。またプレゼンの後には、JUIDA理事との交流やJUIDAへの質問が行える参加者との自由交流会を設けます。

事前申込：31名
当日申込：6名
出席者：19名



考察：業界の最前線に立っているJUIDAの視点から、海外最新動向や国内の最新実証実験事例について動画での紹介など、他では見られないコンテンツが多く、また、政府の最新動向について活発に質問があるなど、総じて参加者の評価が高かった。

■ 株式会社オプティム 九州支社 サブマネージャー 岸山 洋介

内容

- AI(ディープラーニング)を用いた病害虫検知とドローンによる全自動農薬散布/ピンポイント農薬散布、上空（空撮画像）からの農薬物の作付け調査、その他ドローンの活用事例をご紹介します。

事前申込：63名
当日申込：10名
出席者：41名



考察：セミナー・ワークショップの中でも最も多い事前申込数となっており、ドローンの農業利用に関する関心の高さが窺えた。参加者は農業従事者が多い印象。一方で、デモフライトで電波の関係で飛行ができなかったこともあり、参加者の評価は低めである。

上空シェアリングサービスsora:shareが 開拓する空の経済

定員：40名

CONFIDENTIAL

■ 株式会社トルビズオン 代表取締役CEO 増本 衛

内容

- 空中権取引を行うためのクラウドサービス“sora:share(ソラシェア)”のご紹介を通して、同プラットフォームを活用したドローン物流の社会実装についてご説明します。我々が提唱するSkyaaS(Sky as a service)構想と海外展開にについても触れます。また、数多の災害現場でのドローン調査経験をもとに考案した、「スカイドメイン:トレードマーク:を活用した災害対策ドローンソリューション」を提案します。

事前申込：40名

当日申込：8名

出席者：28名



考察：参加者の多くは空の権利関係について詳しくなく、入門的な説明によって、ドローン活用のハードルについての理解が深まっていた。また、ビジネスモデルが非常に画期的だった為、参加者からの質問が相次ぎ、ドローンに対する興味関心が喚起された。

- 株式会社ORSO 代表取締役社長 CEO
東京大学大学院工学系研究科 非常勤講師 坂本 義親

内容

- ドローンビジネス市場は前年比85%増の931億円(出展：インプレス研究所)を突破し、ビジネス活用の領域に既に挑戦しています。またこれから挑戦する方々に向けて、いまさら聞けないドローンに関連する法律、IT的ビジネスモデルをうまく取り入れた事例、新産業への共創事例をご紹介します。

事前申込：56名
当日申込：17名
出席者：40名



考察：ドローン業界の概観に触れながら、ドローン業界でなかなか成功していないマネタイズやビジネスモデルづくりに言及しており、参加者の評価も高かった。子ども向けプログラミング講座については積極的に質問も出るなど、関心の高さが窺えた。

各コンテンツの概要と成果

【子供向けドローン操縦・プログラミング体験会】

■ 株式会社オーイーシー、株式会社ORSO

内容

- 今後大きく成長するドローン・ロボティクス産業を支える次世代の人材育成のきっかけとして、最先端技術であるドローンに触れることができる体験会。操縦体験会ではスタッフから基本操作を教わり、子どもが自らドローンを操縦する体験が受けられる。ドローンプログラミング体験会では、自らが作ったプログラミングでドローンを飛ばす体験ができる。
- 体験会： 2019年12月21日（土） 10時～16時開催



会場の様子と結果

CONFIDENTIAL

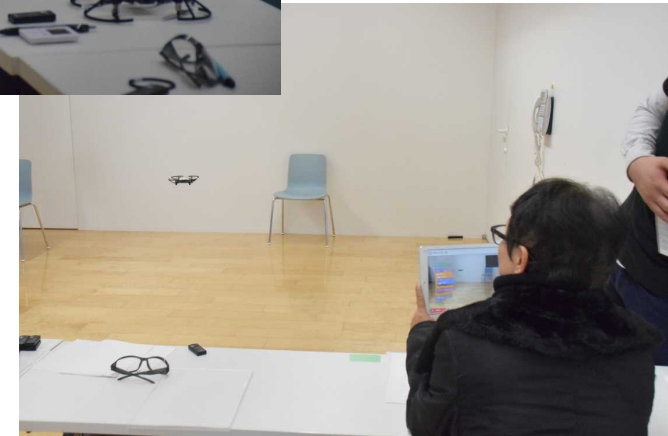
[操縦体験]

事前申込：50組
体験人数：167名



[プログラミング体験]

事前申込：24組
体験人数：42名



考察：プログラミング体験は注目度が高く、事前申込早々に定員に達した。体験会当日のお子様の体験満足度は高く、また保護者の方の手动操縦体験も好評で、200名以上の方に体験いただき、継続して欲しいとの声を非常に多く頂いた。

各コンテンツの概要と成果

【デモンストレーション】

- 概要 : 各社の機体特性を把握しやすいようにデモンストレーションを行う
- 企画スケジュール

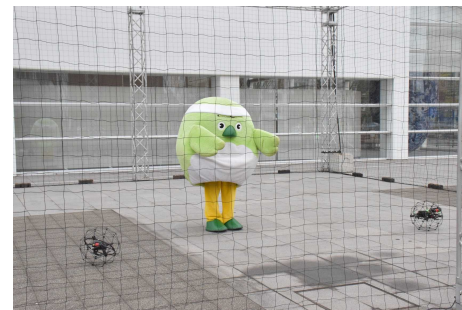
| 機体 | 企業 | 12月20日(金) | 12月21日(土) |
|----------------------------|------------------------------|----------------------------|----------------------------|
| ELIOS | ブルーイノベーション株式会社 | 11:00~11:15 15:10~15:25 | 15:10~15:25 |
| Mavic Mini | 合名会社ユフプロ | 11:30~11:45 13:30~13:45 | 13:00~13:15 14:40~14:55 |
| OPTIM X | 株式会社オプティム | 12:00~12:15 14:00~14:15 | 12:30~12:45 14:10~14:25 |
| GasStar 1 ANAFI THERMAL | KMT株式会社 大分オフィス 株式会社ロボデックス | 12:50~13:15 14:30~14:55 | 11:50~12:15 13:30~13:55 |
| Skydio 2 | Skydio, Inc. | 14:55~15:10 | — |

飛行場所



■ 機体 ELIOS 1 および ELIOS 2

- 開催回数 : 3回
- デモのストーリー : ELIOS1、2の機能紹介と活用事例紹介



| ELIOS 1 | | ELIOS 2 New | |
|-----------|------------------------|---|--------------------------------|
| 機体の大きさ | 40 [cm] | 機体の大きさ | 40 [cm] |
| 機体重量 | 700 [g](バッテリー含む) | 機体重量 | 1,450 [g](バッテリー含む) |
| ガード構造 | 3軸ジンバル機構 | ガード構造 | 本体と固定 |
| 耐風性能 | 5 [m/s] | 耐風性能 | 6.5 [m/s] |
| 通信距離 | 500 [m] | 通信距離 | 500 [m] |
| 飛行モード | (ノーマルモード) 姿勢制御+高度維持 | 飛行モード | (アシストモード) 姿勢制御+高度維持+自己位置固定* |
| 飛行最小幅(推奨) | 60 [cm] | 飛行最小幅(推奨) | 100 [cm] |
| LED | 2,000 [lm] | LED | 10,000 [lm] |
| 動画画質 | FHD:1920x1080 | 動画画質 | 4K:3840x2160 |
| 写真画質 | なし | 写真画質 | 4000x3000 |
| 赤外線カメラ | 160x120 | 赤外線カメラ | 160x120 |

所感：具体的な点検活用での相談など産業利用の可能性を感じていただけた。

■ 機体 Mavic Mini

- 開催回数 : 4回
- デモのストーリー : DJI製MavicMiniの機能紹介とYDPSTの活動紹介



| | |
|---------------------|--|
| 離陸重量 ^[1] | 249 g / 199 g (日本) |
| サイズ | 折りたたんだ状態 : 140×82×57 mm (L×W×H) 展開時 : 160×202×55 mm (L×W×H) 展開時 (プロペラあり) : 245×290×55 mm (L×W×H) |
| 対角寸法 | 213 mm |
| 最大上昇速度 | 4 m/s (Sモード) 2 m/s (Pモード) 1.5 m/s (Cモード) |
| 最大下降速度 | 3 m/s (Sモード) 1.8 m/s (Pモード) 1 m/s (Cモード) |
| 最大飛行速度 (海拔に近接、無風) | 13 m/s (Sモード) 8 m/s (Pモード) 4 m/s (Cモード) |
| 運用限界高度 (海拔) | 3000 m |
| 最大飛行時間 | 30分 (無風で14km/hの速度で飛行時に測定) 18分 (日本向け) (無風で12km/hの速度で飛行時に測定) |
| 最大風圧抵抗 | 8 m/s (スケール4) |

所感：航空法適用外のコンシューマー向け機体ということで、一般のお客様の関心が高かった。

■ 機体 OPTIM X

- 開催回数 : 4回
- デモのストーリー : 農薬散布用機体とオプティムのサービス紹介



所感：今回、近隣建物の影響でRTKの受信が悪く、飛行させることができなかった。
代わりに機体を触っていただいたり、散布のデモで実際の活用時のイメージを見学者に持っ
ていただけた。

■ 機体 GasStar1、ANAFI THERMAL

- 開催回数 : 4回
- デモのストーリー : エンジンハイブリット型ドローンの飛行デモとParrot製ANAFIの紹介



所感：2時間飛行可能なエンジンハイブリット型のドローンは、産業用途での注目も高かった。ANAFIは、コンパクトで携帯性も高く相対温度を検知できるため幅広い可能性を感じた。

■ 機体 Skydio 2

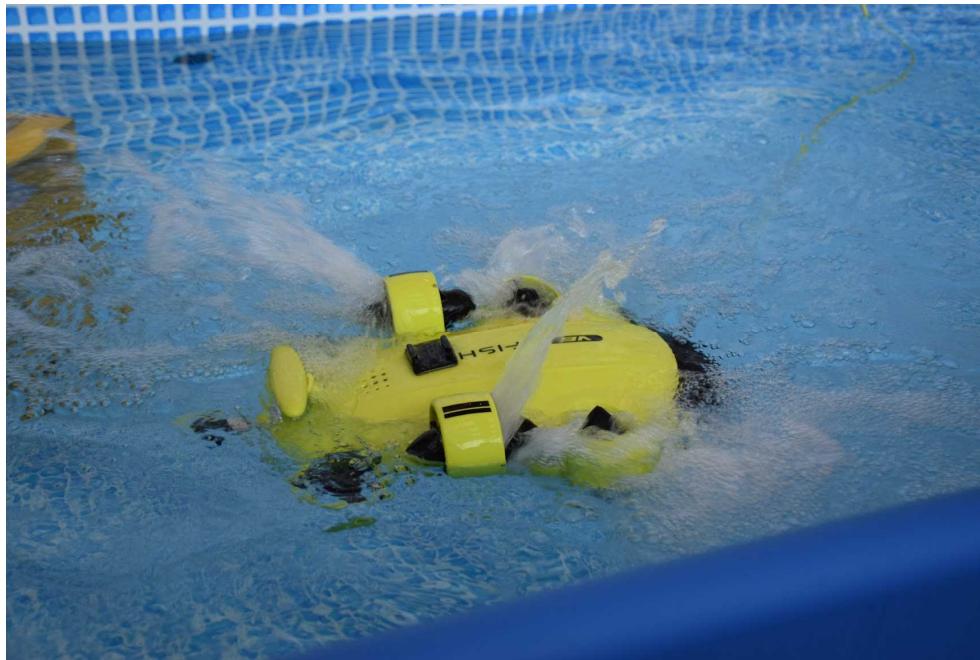
- 開催回数 : 2回 (屋外1回、屋内1回)
- デモのストーリー : 自動追従型のSkydio2紹介



所感：個々の人間を認識して、追従しながら撮影できるという機能に対して、見学者がとても注目していた。

■ 機体 FIFISH

- 開催回数 : 8回
- デモのストーリー : 養殖などの漁業現場の調査やダム那点検などに活用され、活躍の幅を広げていることを紹介



所感：大きな水槽準備できたので、水中ドローンの迫力ある動きを実演することができ、見本市来場者の注目を集めていた。